

青森県



26年度さくらねこ無料不妊手術事業

主催：公益財団法人どうぶつ基金

申請者：ワン・ニャンを愛する会

2014年8月27～28日(手術実施日)

事業の必要性・背景(申請書より)

1 背景

捨て猫が後を絶たず、青森県では平成18年度～平成24年度までは全国の傾向とは逆に殺処分数、苦情件数が増加しました。最も大きい原因は旺盛な繁殖によりノラ猫が増加したと県当局は結論づけています。町内会等公的セクターからの批判・苦情も保健所へ多数寄せられています。一方、愛猫家は地域猫の正当性、ノラ猫の捕獲・殺処分の不合理性を主張するものの不妊・去勢処置はごく一部に留まっています。

2 不妊事業の必要性

現状のままでは、地域猫・ノラ猫問題をきっかけ住民間の対立が高まり、大量捕獲・殺処分を肯定する世論が形成されるおそれがあります。このような事態を回避するためにもトラブルの原因となっている猫の繁殖を防止することが緊急に必要です。

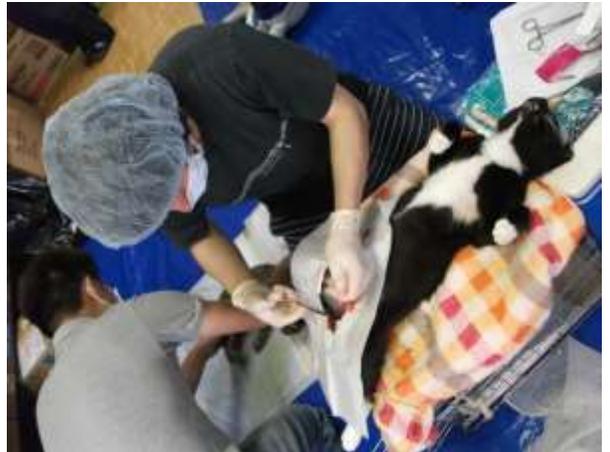
3 TNR活動の目的

動物の生命を尊ぶ(殺さない、殺させない)ことと環境維持を図るには、動物から起因するトラブルをできるだけ抑え、防止し、地域猫・ノラ猫が地域に受け容れられなければなりません。これを達成するには、生命尊重と環境維持を両立させるTNR活動が必要であり、当会も役割の一端を担うこととしています

執刀医



齋藤獣医師



奈良獣医師
ボランティア参加



会場及び協働人員数

9月27日(土)9:00～20:30

会場:弘前市和徳公民館

獣医師: 斎藤朋子先生 アシタント 北里大学学生2名

会場内ボランティア 9名

9月28日(日)9:00～20:30

会場:青森市南金沢町市民館

獣医師: 斎藤朋子先生、奈良聡先生 アシスタント 北里大学学生2名

会場内ボランティア 7名



手術実績及び処置内容

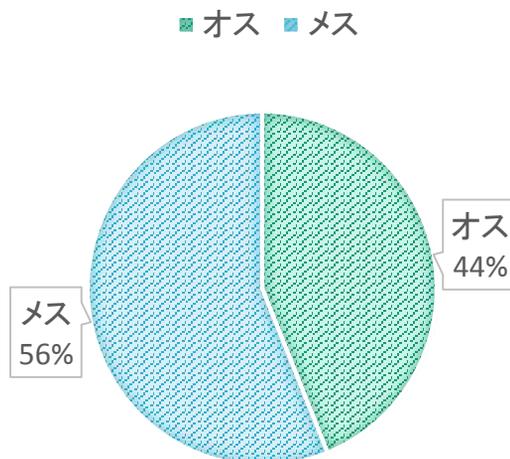
手術実績

	オス	メス	総数
8月27日	11頭	21頭	32頭
8月28日	25頭	25頭	34頭
計	36頭	46頭	82頭

処置内容

- 避妊・去勢手術
- 耳先Vカット(さくらカット)
- 3種混合ワクチン
- レボリューション

オスメス割合





青森県

26年度さくらねこ無料不妊手術事業

主催：公益財団法人どうぶつ基金

申請者：ワン・ニャンを愛する会

2014年8月27～28日(手術実施日)